

決 算 特 別 委 員 会 (全 体 会)

日 時 平成 2 5 年 9 月 1 2 日 (木) 午後 1 時 3 0 分 ~
場 所 全員協議会室

1 開 議

2 事務事業評価の視点について

参考人：永久寿夫様、川嶋幸夫様、伊藤伸様

(1) 模擬事務事業評価

総務文教分科会

対象事業：議会だより発行事業

(2) 論点勉強会

環境厚生分科会

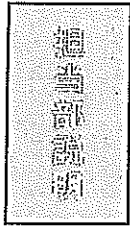
対象事業：ごみの減量化・資源化等推進事業

産業建設分科会

対象事業：商店街等活性化推進事業

3 その他

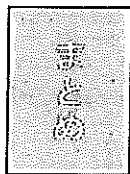
模擬事務事業評価フロー



担当部から説明を受けます。
(事務事業評価資料に基づく)



評価の判断材料として、説明に対する質疑を行います。
委員の意見を出し合い、自由に討議を行います。
質疑・討議を行いつつ各委員が個人評価を行います。(個人評価表の記入)



個人評価から分科会の評価結果をまとめます。
○評価項目(休止、廃止、継続等)の決定
○評価に至った理由、提案等
※ほぼまとまった段階で、担当部の意見を求めます。

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

一般 会 計					款	議会費	項	議会費	目	議会事務局
対象事務事業名	議会だより発行事業								施策概要	〇〇ページ
目 的	事業の目的は何か		市民に積極的な情報公開を行い、説明責任を果たすこと。 透明性を高め、市民に開かれた議会とすること。 それらにより、市民の議会や市政への関心が高まり、市民の市政参加が進むこと。 (議会基本条例第3条議会の活動原則、第16条議会広報の充実)							
手 法 活 動 実 績	目的達成のために行った手法は何か		☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金支給 ☐ その他()							
	目的達成のために行った活動とその実績は何か		・広報広聴特別委員会で編集。(各号、委員会を5回開催、作業部会複数回開催) ・議会だよりの発行、全戸配布及び主要公共施設への配置。(年4回、各号約31,600部発行) ・議会報告会資料として活用。(年12回開催)							
成 果	目的に対する成果は何か		市民の議会や市政への関心が高まり、市民の市政参加が進むこと。 ・議会だよりの読紙率「毎回見ている」83.7%(過去3回土曜議会時アンケート平均値) ・内容の充実度「議会の活動が伝わってくる」59.7%(6,9,12月定例会後報告会アンケート平均値) ・本会議傍聴者数396人、インターネット中継年間アクセス数ライブ5,197件、録画12,428件、議会報告会参加者数231人							
コスト	事業に係る経費は		内 訳		金 額		説 明			
			1部当たり13,545円、125,450部発行		1,699,219		需用費(印刷製本費)、表裏、4、5、8、9頁カラー、その他1色、全16頁			
							3月号 30,700部、6月・9月号 31,600部、12月号 31,550部			
			計		1,699,219					
	事業に携わった職員数は		0.25人 ×@7,300,000=		1,825,000					
								合 計		3,524,219
財 源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は		内 訳		金 額		説 明			
			一般財源のみ							
		計		0						
課 題 方 向 性	今後の課題は何か		議会だよりに対する市民ニーズを把握し、掲載内容の充実に努め、より多くの市民に読んでいただくこと。 如何にして物事が決定されていくのか、その審議状況をよりわかりやすく伝えていくこと。							
	今後の方向性はどうか		議会だよりは、編集委員会、広報広聴特別委員会、広報広聴会議と編集組織を充実発展させる中で、議員自らが主体的に編集に携わっている。議会活動を市民に伝えることはもとより、議会が自らの活動を再認識する大きなツールととらえている。今後も、課題を解決しながら、目的達成に向けて引き続き、議会だよりを発行する。							

「議会だより発行事業」に係る資料

1 議会だよりの全戸配布の方法と部数

全戸配布部数は毎回若干の変動があるが、31,000部弱。

全戸配布の方法は自治会を通じて配布。

＜H25.9.9現在 各公共施設配布部数＞

1	市役所情報コーナー	100
2	ギャラリーかめおか	20
3	図書館	10
4	文化資料館	10
5	人権福祉センター	10
6	馬路文化センター	10
7	東部文化センター	131
8	保津文化センター	10
9	保津ヶ丘文化センター	10
10	犬甘野児童館	5
11	市立病院	10
	公共施設合計	326

その他、庁内各課、各関係機関送付、視察対応、議会報告会時使用分あり。

最終的な残部数は、50部強

2 印刷業務の契約方法

物品購入等調整委員会で選定された7業者による入札

H24.3.1～H25.2.28までの長期継続契約

3 広報の編集方法

広報広聴特別委員会(7人)・・・各会派按分により委員選出

議会だよりの発行をはじめとする議会活動全般にわたる広報広聴活動の推進を図る。

広報広聴会議(9人)・・・3常任委員会の副委員長と各会派から1名ずつ選出

議会の広報広聴の推進に関する協議又は調整を行う。

＜広報部会・4人＞

議会だよりの編集に関することのほか、会議の所掌事務のうち委員長が会議に諮って指定する事務を行う。

＜広聴部会・4人＞

議会報告会の企画及び運営に関することのほか、会議の所掌事務のうち委員長が会議に諮って指定する事務を行う。

4 議会だよりへの市民の意見の反映方法

議会報告会時のアンケートやメールで寄せられた意見等は広報広聴会議で検討する。

議会だよりに「市民の声」として、「本会議を傍聴して」を掲載。また、議会報告会での意見等を掲載。

5 最近3力年の本会議、各委員会における傍聴者数の推移

<本会議>

H22・・・454人

H23・・・359人

H24・・・396人

<委員会・研修会等>

H24・・・市民129人

報道59人

職員15人

議員126人

計 329人

※この資料はH25.9.12論点勉強会用に議会事務局が作成したものです。
数値、内容は正確なものではありませんので取扱いに注意をお願いします。

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

					担当課	環境クリーン 推進課
一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
対象事務事業	ごみの減量化・資源化等推進事業				施策概要	〇〇ページ
目的	事業の目的は何か	ゴミの発生抑制を図ること。 資源循環型のまちづくりを推進すること。				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☐ その他()				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	☒ カン・ビン類等の資源化処理、売払い ・カン類等資源化量198,692kg、売払収入 12,481,671円 ・ビン類 資源化量521,630kg、売払収入 232,700円 ・アルミ製品等 24,670kg、売払収入 623,446円 ☒ ペットボトルの拠点回収 量販店17箇所、小学校18校、市施設2箇所 ☒ 資源ごみ集団回収に報奨金を交付 交付団体 延べ466団体 ☒ 生ごみ処理機器購入、集じん箱等設置に対する補助金の交付 生ごみ処理容器(コンポスト)8基、生ごみ処理機(電気式)11基、集じん箱10基 ☒ クリーン亀岡推進会議による街頭啓発等啓発事業に対する補助金の交付 ☒ プラスチック製容器包装等のモニター収集を、旭町、東本梅町、大井町の一部地域で行い分別収集品目の拡大を検討した。 プラスチック製容器包装 16,700kg、ペットボトル1,772.6kg、スプレー缶ライター546.2kg				
成果	目的に対する成果は何か	☒ カン類・ビン類等を分別収集、再資源処理により資源化を推進した。 資源化量対前年比98.6% H24年度 カン類等198,692kg、ビン類521,630kg、アルミ製品等24,670kg 計744,992kg H23年度 カン類等193,450kg、ビン類544,650kg、アルミ製品等17,200kg 計755,300kg ☒ ペットボトルを拠点回収し、リサイクルを推進した。 ペットボトル回収量対前年比90.7%kg H24年度123,680kg、平成23年度136,410kg ☒ 資源ごみ集団回収により新聞紙等のリサイクルを推進した。 集団回収量対前年比101.1% H24、466団体 新聞2,050,530kg、雑誌679,010kg、ダンボール496,170kg、古布210,930kg 計3,436,640kg H23、436団体 新聞2,007,940kg、雑誌690,950kg、ダンボール483,105kg、古布214,825kg 計3,396,820kg ☒ 生ごみ処理機器購入、集じん箱等設置補助によりごみの減量化と適正収集を推進した。 ☒ クリーンかめおか推進会議による街頭啓発等の啓発事業に補助金を交付し、市民、事業者、行政の協働によるごみ資源化、減量化を推進した。 ☒ H24年度末資源化率15.87% (平成23年度末15.54%)				

コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明
		缶プレス運搬委託料	1,470,000	委託料(業務委託料) @21,000/1回×70回
		ペットボトル収集委託料	11,483,304	委託料(業務委託料) @26,250/1回×12回 @90.30/kg×123,680kg
		資源ごみ集団回収報奨金	17,183,200	負担金補助及び交付金(補助金) @5円/1kg×3,436,640kg
		減量・資源化等推進事業費補助金	850,400	負担金補助及び交付金(補助金) 処理容器8基37,400円、 電気式処理器11基220,000円、 集塵箱10基593,000円
		クリーンかめおか推進会議補助金	1,350,000	負担金補助及び交付金(補助金) 街頭啓発経費269,850円、環境フェ スタ経費340,227円、 機関紙発行3回239,668円、 総会開催経費91,585円、 事務費等408,670円
		プラスチック製容器包装処理業 務委託料等	1,678,950	委託料(業務委託料) プラスチック製容器包装処理業務 委託料898,800円、仮設ストック ヤード設置業務委託料286,650円、 ストックヤード建設調査設計委託 料493,500円
		計	34,015,854	
	事業に携わった職員数は	0.98人 ×@7,300,000=	7,154,000	
合計				41,169,854
財源	上記経費に対する財源(特 定財源のみ)は	内訳	金額	説明
		府支出金	839,000	みらい戦略一括交付金 概ね1/ 2
		計	839,000	
課 題 向 性	今後の課題は何か	○ごみは市民・事業者の協力のもと減量が進んでいるが、家庭系、事業系とも に、ごみの中には資源化、減量が見込めるものが含まれている。 ○ごみの多くは水分を含んだ家庭系の燃やすごみであり、水切や堆肥化等の 取り組みが必要である。 ○廃棄された手付かずの食品等もあることから、家庭系、事業系ともにごみの 発生・排出抑制が必要である。 ○再生利用可能なものをさらに回収するため、分別品目の拡大が必要であ る。 ○市民意識の高揚		
	今後の方向性はどうか	○ごみ処理基本計画に定める目標値達成に向け更なる分別収集、資源化を 図るため、有効な実施方法を調査、検討し実現していく。 資源化率の目標値21.0%(平成34年度)		

1 ごみの減量化・資源化等推進事業

- (1) 資源化处理・売り払い関係
 - ① 分別の種類、回収頻度
 - ② 最近5カ年の収集量の推移
 - ③ ごみ総量の5カ年の推移（総量と市民1人あたり）と資源化率の推移
 - ④ ごみ処理に要する費用（収集から処分に至る全般）の5カ年の推移（総額と1トあたり、市民1人あたり）
- (2) ペットボトルの拠点回収
 - ① 回収量の5カ年の推移
 - ② 回収に要した費用の5カ年の推移
 - ③ 委託業務の仕様の内容
- (3) 資源ごみ集団回収報奨金
 - ① 集団回収実施団体の実数（団体ごとに）の推移（5カ年）
 - ② 集団回収による収集量と補助金の推移
 - ③ 回収業者が関係団体等に売り払う際の代金の相場（品目ごとに）
- (4) 生ごみ処理機購入、集じん箱等設置補助金
 - ① 生ごみ処理機の設置台数と補助金の累計、設置目標
 - ② 電気式処理機の設置台数と補助金の累計、設置目標
 - ③ 集じん箱の設置台数と補助金の累計、設置目標
- (5) クリーンかめおか推進会議補助金
 - ① 街頭啓発の実施内容と、経費の総額と補助金 269,850 円の使途
 - ② 環境フェスタの実施内容と、経費の総額と補助金 340,227 円の使途
 - ③ 機関紙の内容と発行経費総額と、補助金 239,668 円の使途
 - ④ 総会開催の内容と、費用総額と補助金 91,585 円の使途
 - ⑤ 事務費等の内容と、費用総額と補助金 493,500 円の使途
- (6) プラスティック製容器包装処理
 - ① モニター収集の取り組みの実施概要
 - ② 委託の仕様と委託料の内訳

1 ごみの減量化・資源化等推進事業

(1) 資源化処理・売り払い関係

① 分別の種類、回収頻度

種類:頻度 「空きカン、空きビン:月2回」、「ペットボトル:量販店週3回、小学校月1回及び市施設月1回若しくは3回」、「使用済乾電池:月2回」、「使用済蛍光管:月1回」

② 最近5カ年の収集量の推移

(単位:トン)

	H20	H21	H22	H23	H24	計
空きカン	244.24	238.38	230.09	231.05	236.12	1,179.88
空きビン	847.52	827.72	830.01	883.37	931.89	4,320.51
ペットボトル	137.28	136.64	151.00	144.88	127.02	696.82
使用済乾電池	14.04	11.92	12.28	12.44	13.74	64.42
使用済蛍光管	0.67	1.84	1.95	1.79	1.87	8.12
計	1,243.75	1,216.50	1,225.33	1,273.53	1,310.64	6,269.75

③ ごみ総量の5カ年の推移(総量と市民1人あたり)と資源化率の推移

	H20	H21	H22	H23	H24
ごみ排出量(t)	29,663.49	28,736.28	28,875.97	28,483.87	28,093.20
資源化量(%)	16.00	15.44	15.51	15.54	15.87

④ ごみ処理に要する費用(収集から処分に至る全般)の5カ年の推移 (総額と1トンあたり、市民1人あたり)

	H20	H21	H22	H23	H24
処理費用(千円)	932,369	909,187	982,987	1,088,943	1,064,839
排出量(t)	29,663.49	28,736.28	28,875.97	28,483.87	28,093.20
1トンあたり(円)	31,432	31,639	34,042	38,230	37,904
市人口(10/1)	94,501	94,003	93,592	93,335	92,923
1人あたり(円)	9,866	9,672	10,503	11,667	11,459

(2) ペットボトルの拠点回収 11,483,304円

① 回収量の5カ年の推移

	H20	H21	H22	H23	H24	計
ペットボトル(t)	137.28	136.64	151.00	144.88	127.02	696.82

② 回収に要した費用の5カ年の推移

	H20	H21	H22	H23	H24
市内量販店17箇所	9,945,936	10,760,398	13,318,200	12,317,823	11,168,304
市内小学校18校	184,800	184,800	190,575	231,084	315,000
計	10,130,736	10,945,198	13,508,775	12,548,907	11,483,304

③ 委託業務の仕様の内容

- ・市内17箇所の量販店から週3回、ペットボトルを収集し再生資源化する業務。
- ・市内18小学校及び市施設2ヶ所に月1回若しくは3回ペットボトルを収集する。

(3) 資源ごみ集団回収報奨金 17,183,200円

① 集団回収実施団体の実数(団体ごとに)の推移(5カ年)

	H20	H21	H22	H23	H24
登録団体数	161	166	169	172	183

② 集団回収による収集量と補助金の推移

	H20	H21	H22	H23	H24
収集量(t)	3,678,190	3,397,770	3,441,740	3,396,820	3,436,640
報奨金(円)	18,390,950	16,988,850	17,208,700	16,984,100	17,183,200

③ 回収業者が関係団体等に売り払う際の代金の相場

	H24
新聞	2円～5円
雑誌	1円～2円
段ボール	1.5円～3円
古布	1円～2円

(4) 生ごみ処理機購入、集じん箱等設置補助金 850,400円

① 生ごみ処理機の設置台数と補助金の累計、設置目標

設置台数	補助金額	設置目標
8	37,400	20

② 電気式処理機の設置台数と補助金の累計、設置目標

設置台数	補助金額	設置目標
11	220,000	20

③ 集じん箱の設置台数と補助金の累計、設置目標

設置台数	補助金額	設置目標
13	593,000	15

(5) クリーンかめおか推進会議補助金 1,350,000円

① 街頭啓発の実施内容と、経費の総額と補助金269,850円の使途

・エコランチバッグ購入 ・カラマツブロック購入

② 環境フェスタの実施内容と、経費の総額と補助金340,227円の使途

実施日10/6 ・施設使用料 ・看板・懸垂幕代 ・表彰状購入
・リサイクルキャンドル材料購入 ・作品賞購入(図書カード)
・参加賞購入(蛍光ペンセット) ・審査御礼購入(プリンター)

③ 機関紙の内容と発行経費総額と、補助金239,668円の使途

・機関紙「グリーンかめおか」発行
・会報誌「イスト28」、「イスト29」発行

④ 総会開催の内容と、費用総額と補助金91,585円の使途

実施日5/30 ・総会施設使用料 ・吊看板・懸垂幕等
・会長賞購入(商品券)

⑤ 事務費等の内容と、費用総額と補助金408,670円の使途

・図書購入「グリーンリポート」 ・郵送代 ・コピー代
・不法投棄看板代作成 ・コピー用紙代
・研修会時お茶購入 ・宛名ラベル・ファイル等購入

(6) プラスチック製容器包装処理 1,678,950円

① モニター収集の取り組みの実施概要

平成24年8月から平成25年3月までの8ヶ月間、市内の3町(内、1町は一部地域)で、プラスチック製容器包装、ペットボトル、スプレー缶・ライターの分別収集を試験実施し、収集方法・収集量・排出状況などを調査した。

② 委託の仕様と委託料の内訳

・プラスチック製容器包装処理業務委託料 898,800円

モニター収集した資源化物の処理について、現有の施設では中間処理(選別・圧縮・梱包)が出来ないため、容器包装リサイクル協会に登録されている中間処理業者に委託した。

・仮設ストックヤード設置業務委託料 286,650円

モニター収集した資源化物を既存の施設で受け入れることが困難であるため、一時保管のために仮置き場を設置する業務を委託した。

・ストックヤード建設調査設計委託料 493,500円

プラスチック製容器包装等を分別収集するにあたり、既存の施設で受け入れが出来ないため、新たな保管施設が必要であり建設に要する費用等の算出するための調査設計業務を委託した。

※この資料はH25.9.12論点勉強会用に議会事務局が作成したものです。
数値、内容は正確なものではありませんので取扱いに注意をお願いします。

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

一般 会計					款	商工費	項	商工費	目	担当課	ものづくり産業課
											商工業振興費
対象事務事業	商店街等活性化推進事業								施策概要	〇〇ページ	
目的	事業の目的は何か		☐ 商業の振興 ☐ 地域経済の活性化 ☐ にぎわいづくりの創出								
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か		☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☐ その他()								
	目的達成のために行った活動とその実績は何か		☐ (商店街活力向上支援事業)ふれあいポイントカードシステム更新に対して補助金を交付した。 ☐ 商店街等イベント事業 13件 ☐ (商店街街路灯経費支援事業)商店街イルミネーション事業に対する補助を行った。3件 ☐ (魅力ある商店街のにぎわい創出事業)光秀まつり、亀山城下ひなまつり事業等に補助金を交付した。4事業 ☐ 店舗経営戦略相談業務(委託)								
成果	目的に対する成果は何か		☐ ふれあいポイントカードシステム更新により商店街顧客の確保、店舗売上げ収入の増につなげた。(ポイントカード加入者:21,500人) ☐ 商店街等イベント事業の実施により、地域の活性化・地域コミュニティを推進した。 ☐ 商店街のイルミネーションによりにぎわいを創出した。 ☐ 光秀まつり、亀山城下ひなまつり事業補助により、にぎわい創出を行った。 ☐ 個店の強化								
コスト	事業に係る経費は		内訳	金額	説明						
			商店街活力向上支援事業補助金	4,380,000	ふれあいポイントカードシステム更新 補助率1/9						
			商店街等イベント事業補助金	5,018,000	13団体						
			商店街街路灯経費支援事業補助	124,998	イルミネーション事業 3団体						
			魅力ある商店街のにぎわい創出事業補助金	1,640,000	光秀まつり協賛事業 亀山城下ひなまつり事業 など						
			店舗経営戦略相談委託料	140,700	個店の経営力を向上させ、地域経済の活性化を図る。(H24 5店舗)						
			計	11,303,698							
	事業に携わった職員数は		1.00人 ×@7,300,000=		7,300,000						
		合計 18,603,698									

財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明
		一般財源のみ		
		計	0	
課 題 方 向 性	今後の課題は何か	○観光客をはじめ、多くの客を商店街に流入させ、買い物や散策の場として賑わいを醸成させる。(滞留性をもたらす仕掛け不足) ○低未利用地(空地・駐車場・非店舗など)が多く、魅力ある商店街としての街並み形成が不十分である。		
	今後の方向性はどうか	○少子高齢化が加速するなかで、買い物弱者が安心(信頼)して買い物ができる場とする。(憩いのスペースづくり、交通手段の確保、宅配サービスなどの確立) ○地域活力を強化し、商業振興と賑わいづくりを支援していく。 以上、商店街を生かした事業展開のために補助金を交付していく。		

2 商店街等活性化推進事業

(1) 商業一般

- ① 市内の商店街、小売店数の推移（5カ年程度）、就業員数の推移
- ② 商圏の範囲、入込客数の状況

(2) ポイントカードシステム

- ① 導入時期、導入の経緯
- ② 加盟店の推移
- ③ 会員の推移
- ④ ポイント使用実績の推移

(3) 商店街等イベント事業

- ① 最近5カ年のイベント実施内容（開始時期）と、イベントの事業費と補助金の使途
- ② イベントによる集客数と実施による経済的効果

(4) 商店街イルミネーション事業

- ① 開始時期と実施に至った経緯
- ② 協力店舗数
- ③ にぎわい創出の効果（集客面、経済効果）

(5) 魅力ある商店街のにぎわい創出事業

- ① 各事業の実施内容（開始時期）と事業費、補助金の使途
- ② 各事業の集客数と実施による経済的効果

(6) 店舗経営戦略相談業務

- ① 事業の目的と相談業務の内容（委託先、体制等）
- ② 相談件数と主な内容、相談に対する対応状況

2 商店街等活性化推進事業 関連資料

(1) 商業一般

① 亀岡地域商業の推移（卸売業・小売業）

	H 9	H 1 4	H 1 9
事業所数（店）	994	964	896
従業者数（人）	6,120	6,627	5,956
年間販売額（千万円）	12,908	12,486	11,877

* 商業統計数値（総合計画 参考数値）

亀岡市商店街連盟 加盟店舗数の推移

	商店街数	H 1 0	H 1 5	H 2 0	H 2 5
亀岡市商店街連盟	26	712	685	558	487
亀岡市街地エリア	12	363	345	286	254
篠・つつじエリア	5	108	117	98	96
大井・千代川エリア	3	117	107	86	80
中部・西部エリア	4	92	92	66	48
保津・川東エリア	2	32	24	22	9

(店)

- ・ 事業所、従業員数、加盟店は年々減少傾向にある。
- ・ JR 各駅周辺と、国道 9 号線沿線に商店が集中している。

②

(2) ポイントカードシステム（ふれ愛カード）

①平成 6 年、大型店に対抗する中で、地域の商業者により亀岡商業協同組合が設立された。設立と同時に、売上確保、顧客の囲い込み、顧客サービスの向上等を目的に、共同ポイントカードシステム（ふれ愛カード）が導入された。

②ポイントカードシステム（ふれ愛カード）加盟店等の推移

年度	H10	H15	H20	H25
加盟店数(店)	191	207	173	152
会員数(人)	不明	17024	21158	22,019
発行ポイント数(円)	20,033,395	16,871,257	13,097,270	9,671,079

(3) 商店街等イベント事業

① イベント実施内容（別紙参照）

補助率：事業費の1/2以内、上限40万円（平成24年度）

② 商店街に聞き取りを行ったところ、イベントによる集客数は、カウントが困難であるが、イベントにより数百人から数千人規模の来場があるとのことである。

経済効果については、イベント前の売り出しや、実施後には個店の売り上げが増加するとの意見が見られた。

イベントによる持続的な効果は薄い、商店街活動の下支えになっているかもしれないという意見や、地域コミュニティの形成、地域貢献に役立っているという意見も多かった。

(4) 商店街イルミネーション事業

① 平成16年に亀岡駅前商店街振興組合が実施。神戸ルミナリエに代表されるイルミネーションが全国的にブームになっており、冬の振興事業の一環として開始された。

② 4 商店街119店舗（平成24年度）

③ 冬のイベントが少ない本市において、にぎわいづくりに繋がっているが、商店街への直接的な経済効果は少ない。

(5) 魅力ある商店街等のにぎわい創出事業

① 各事業の内容、事業費等

	団体名	事業名	実施時月	確定事業費	市補助金額
1	H商店街他5団体	亀岡光秀まつり協賛 まち歩き（にぎわい茶屋等）事業	春	680,000	340,000
2	安町商友会	安町夏祭り夜店	夏	1,780,899	300,000
3	亀岡料飲組合	かめまる弁当開発事業	秋	616,680	300,000
4	亀山城下ひなまつり 実行委員	亀山城下ひなまつり事業	春	1,050,000	700,000
			合計	4,127,579	1,640,000

②各事業の詳細

亀岡光秀まつり協賛 まち歩き（にぎわい茶屋等）事業

光秀まつり全体の来場者数は3万5,000人。各商店街に茶屋を開設することにより、各商店街がPRされ、にぎわいづくりに効果があった。

安町夏祭り夜店

来場者は4,000人以上。祭り当日までに、安町商友会の会員店にて抽選券を配布することで、平常時の集客アップを狙い、ぬり絵コンテスト等の実施により、商店街のPR及びイメージアップを図っており、にぎわいづくりに効果があった。

かめまる弁当開発事業

単価2,000円の弁当を、2回のイベントで120個販売した。実施団体「亀岡料飲連合会」の知名度アップと、亀岡食材やゆるキャラ「明智かめまる」のPRにつながった。

亀山城下ひなまつり事業

1ヶ月の開催期間中、来場者は約8,000人で、2日間かけて実施するスタンプラリー&抽選会への参加者は427人（平成24年度）。亀山城下の由緒ある雛人形の展示を通じ、商店街や城下町の魅力をPRできている。

（6）店舗経営戦略相談業務

①個店の経営力の向上、活性化を図ることにより、亀岡市の地域経済、商店街等の活性化を目的として、平成15年度より亀岡市商店街連盟に事業委託し実施している。

中小企業診断士等の専門アドバイザーが、店舗に訪問し課題解決の為のアドバイスを行う（店舗レイアウト、集客方法、HPやSNSの利用方法等）。

②相談件数は平成15年から現在まで110店舗。相談内容とアドバイスは改善計画にまとめられ、それをもとに店主が目標を立て、経営改善にあたる。

イベント実施内容(開始時期)と、イベントの事業費と補助金額

平成22年度			※補助率1/2 ※府補助を差し引いた額の1/2		
	商店街名	事業名	確定事業費	府補助金額	市補助金額
1	馬堀駅前商店会	七夕まつり	15,017,339	6,051,000	3,965,000
2		灯籠まつり			
3	馬堀西部商店会	「花の金曜」夏の夜市			
4		街なか花飾り			
5	篠八幡商工繁栄会	篠八幡秋祭り、浪漫のタベ			
6	亀岡駅前商店街	亀岡平和音楽祭-2010			
7	西友専門店テナント会	サマーフェスティバル			
8		ウインターフェスティバル			
9	北町商店街	「鍛山のまち北町を知ろう!」			
10	内丸町繁栄会	夏祭り、お盆の大日さん			
11		重陽の節句 亀岡祭りのにぎわいづくり			
12	H商店街	城下町、旧暦の七夕まつり			
13		重陽の節句 亀岡祭りのにぎわいづくり			
14	城下町4商店街	城下町の雛まつり			
15		亀山城下町 ライトアップ事業			
16	サティ協友店会	亀岡平和祭 ふれあいフェスティバル			
17		クリスマスふれあいフェスタ			
18	河原町繁栄会	ふれあい祭			
19	大井町繁栄会	スタンプラリー、街飾り&夏まつり			
20		秋の収穫祭&鉄道祭			
21	千代川町繁栄会	街なか花飾り			

平成23年度			※補助率1/2 ※府補助を差し引いた額の1/2		
	商店街名	事業名	確定事業費	府補助金額	市補助金額
1	馬堀駅前商店会	七夕まつり	13,375,000	5,731,000	3,503,000
2		灯籠まつり			
3	馬堀西部商店会	「花の金曜」夏の夜市			
4		街なか花飾り			
5	篠八幡商工繁栄会	篠八幡秋祭り、浪漫のタベ			
6	亀岡駅前商店街	亀岡平和音楽祭-2011			
7	西友専門店テナント会	サマーフェスティバル			
8		ウインターフェスティバル			
9	北町商店街	「鍛山のまち北町を知ろう!」			
10	内丸町繁栄会	夏祭り、お盆の大日さん			
11		重陽の節句 亀岡祭りのにぎわいづくり			
12	H商店街	城下町、旧暦の七夕まつり			
13		重陽の節句 亀岡祭りのにぎわいづくり			
14	クニッテル商店街	城下町の雛まつり			
15		行灯利用 絵画コンクール			
16	イオン亀岡店同友店会	街中飾りフラワーロード			
17		亀岡平和祭 ふれあいフェスティバル			
18	大井町繁栄会	クリスマスふれあいフェスタ			
19		スタンプラリー、街飾り&夏まつり			
20		秋の収穫祭&鉄道祭			

平成24年度			※補助率1/2	
	商店街名	事業名	確定事業費	市補助金額
1	馬堀西部商店会	花の金曜夜市	893,927	400,000
2	亀岡駅前商店街振興組合	組合創立30周年記念事業	800,277	400,000
3	北町商店街	鍛山のまち北町を知ろう!	856,175	400,000
4	内丸町繁栄会	夏まつり お盆の大日さん	354,001	175,000
5		亀岡まつり にぎわいづくり	203,145	100,000
6	H商店街	七夕まつり	366,842	178,000
7		五節句事業と絵画コンクール	552,085	222,000
8	西友亀岡店テナント会	生き生きやさしい商店街	869,025	400,000
9	大井町商業会	夏まつりのタベ&スタンプラリー	938,818	400,000
10	イオン亀岡店同友店会	亀岡平和祭ふれあいフェスティバル	1,086,568	400,000
11	平和堂同友会 アルプラザ亀岡支所	はと専スタンプラリー	811,530	400,000
12	亀岡市商店街連盟	にぎわいづくり&謝恩企画	3,497,368	1,000,000
13	亀岡商業協同組合	街かどミニイベント	363,634	181,000
			11,593,395	4,656,000

事務事業評価表

評価対象事務 事業名	議会だより発行事業
---------------	-----------

[illegible]

★評価は○△×を記入

委員会論点	事前に分科会で整理
-------	-----------

評価	休止 その他(	廃止	継続 (現状維持	改革改善	拡充)
意見 改善点など					

論点整理

H25. 9. 12

〇ごみの減量・資源化等推進事業経費【環境厚生分科会】

<論点>

- 1 生ごみ処理機等補助金の有効性について、活用状況と費用対効果や効果の測定方法は。
- 2 クリーンかめおか推進会議に対する補助内容と減量化資源化効果は。
- 3 ペットボトル拠点回収の取組結果、全市的な拠点回収の見通しは。
- 4 集団回収報奨の資源化効果は。
- 5 資源化委託業務の資源化効果は。
- 6 生ごみ減量化の状況と他の処理方法との比較は。
- 7 新たなごみ分別拡大、資源化についての検討調査結果は。

〇商店街等活性化事業【産業建設分科会】

<論点>

- 1 各種補助施策は、一過性、限定的な効果となっていないか検証し、商店街振興のための望ましい支援のあり方、施策の方向性を考える。